



**Kohai**  
仲須 大晟さん  
[東亜合成事業部 / 入社2年目]

**Shacho**  
栗飯原 啓知郎さん  
[代表取締役社長]

**Senpai**  
増井 七美さん  
[東亜合成事業部 / 入社3年目]

**Senpai**  
花住 咲愛さん  
[本社・事務部 / 入社3年目]

東海運 株式会社

徳島にいながら世界と繋がる「物流のプロ」へ！

「徳島でいながら日本を飛び越えて、世界と繋がる仕事に携わっていることに大きなやりがいを感じる」と話すのは、入社2年目を迎える仲須大晟さん（24歳）。仲須さんは同社の東亜合成事業部で、メーカーと船主や配車担当との間でスムーズな物流をするためのオペレーターとして業務に励んでいる。荷物の積み込み、船の入港・出港時間の打合せ、お客さまの要望に合わせた提案など、輸出入の最前線となる業務も任されている。専門の知識や資格も必要だが、もっと大事なものは「前向きさとコミュニケーション力」と、採用担当の中野部長は言う。仲須さんにはその両方が備わり、先輩たちの背中を見て日々成長している。仲須さんと同じ部署で働くのは、1年先輩の増井七美さん（25歳）。神戸で国際貿易関係の会社に勤めるお兄さんの影響から、物流の仕事に身近に感じ、大学卒業後は徳島へUターンして東海運に入社した。国家資格である運行管理者を取得し、安全で確実な輸送を行うために現場メンバーをサポートしている。また、増井さんの同期の花住咲愛さん（26歳）は、本社で総務・経理を担当。会社の雰囲気づくりを第一に考え、会社の窓口としていつも明るくお客さまをお出迎えする。そんな若手社員たちとフランクに接する栗飯原社長も40歳と、経営者としては若い。若手経営者と若い社員たちが「物流」という大きな舞台で、自分の役割を果たして活き活きと働いている。東海運の今後の飛躍が楽しみだ。

社長も若手も、社員一人ひとりが「東」の物流を守る主役

東海運だからこそ成し得る「企画力」と「提案力」で新しい価値を創造する

「物流」と聞いて多くの人がイメージするのはトラックやトレーラーで運ぶ陸上輸送と、船で運ぶ海上輸送だろう。東海運ではそれらに加え、多様な物品を大量かつ安全に保管する倉庫業、さらに貿易取引で必ず必要となる通関業まで、物流に関わる一連の業務を行う総合物流企業だ。徳島県内でこの規模の物流を一手に担う会社は珍しく、物流のすべてを学べる環境がある。また、遠距離輸送の場合には、陸上・海上輸送をミックスさせた新輸送システム「モータルシフト」を提案し、長時間労働の削減や環境負荷低減、災害時のBCP対策にも取り組んでいる。物流は単にモノを運ぶだけではない。東海運が目指すのは、より良い提案でお客さまのビジネスを高めることだ。多岐にわたる物流のハード面と、商品管理システムなどのIT活用、そして豊かな想像力と総合力を掛け合わせ、お客さまの想像を超えるサービスを届けている。

企業としての高みを目指すとともに部門間の繋がりも大切に

2022年7月に代表取締役役に就任した栗飯原社長は、東海運の質の高い物流を唯一無二のものにして「選ばれる会社」となるために会社の信頼づくり、信用づくりに真摯に取り組んでいる。例えば、事故ゼロ企業を目指す取り組みのひとつとして左巻き込み事故を



仲須さんは総合職、増井さんと花住さんは一般職で入社。それぞれのキャリアアップに合わせた環境があるのも東海運の魅力だ。

防止するために社員への安全教育はもちろん、ハードへの投資も惜しまず、いち早くシステムの実証実験を行い、未然に事故を防ぐことに努めている。また、各部門間で内部監査や業務パトロールなどを定期的に行い、若手から中堅、幹部まで社員同士が自分事としてお互いの業務を高め合う仕組みを作った。この制度には他部門との連携や交流を図る目的も含まれている。徳島県内だけでなく業務場所が10カ所に分散していることから、仕事を通して交流の場を設け、社員同士がお互いの業務を知ることでも横の繋がりも強くなり、有機的な組織へと成長している。



DATA

**東海運 株式会社**

TEL.088-665-6500

設立	1956年6月
代表者名	代表取締役社長 栗飯原 啓知郎
住所	徳島県徳島市川内町平石流通団地63
営業時間	8:00~17:30
休日	日曜・祝日、土曜は当番制
事業内容	総合物流業(海上輸送・陸上輸送・倉庫業・通関業・国際物流 他)
支店等	東京、大分、高松営業所、及び県内10事業所

募集職種	総合職、一般職(総合職は県外勤務の可能性あり、試用期間6カ月)
勤務場所	東京、大分、高松及び徳島県内10事業所(一般職は県内事業所のみ)
勤務時間	8:00~17:30(昼休憩1時間)、土曜当番時は8:15~12:00
休日・休暇	土曜(当番制)、日曜・祝日、夏季休暇、年末年始休暇 他(年間休日120日)
昇給・賞与	昇給年1回(5月)、賞与年2回(7月・12月)
諸手当	通勤手当、時間外手当、扶養手当 他
福利厚生	各種社会保険、退職金制度、財形貯蓄制度、社員持株制度、GLTD保険制度、脳ドック 他